



パワー浜松ロータリークラブ週報 2015年5月26日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15年度会長: 小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



第581回例会 5月26日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 市川正良 鈴木和行 ●点鐘: 小林昭次
- ゲスト: 米山記念奨学生 于春蘇さん、浜名湖RC 森俊幸様、内山悦二様、佐原功一郎様、浜松南RC 小野真人様
- 議事: 職業奉仕委員会「浜名湖RC ミンマー学校支援 建設事業について」

<出席報告> 本日出席率61名 77, 21% 前々回出席率91, 14%

■会長挨拶

皆さんおはようございます。ロータリアンの義務に「出席する」事が挙げられます。最近は出席率も良くてクラブとしてはまずまずではないかと思えます。

出席義務と同時に「ロータリーの友を読む」事もあります。今まであまり読んだ事がなかったのですが、会長になってどんなものか読んでみると中々いい話があります。それ程時間をかけなくても読めるものが多いので、ぜひお読みいただけたらと思います。

もう1つの義務は「会費を納める」という事です。現在会費についてなかなか収支が合わない状態が何代も続いているという傾向です。対策としましては、経費のかかる夜例会を減らしたり、事務局の稼働日を減らして節減をしたりと様々な努力をしてきました。残念ながら会費の値上げを考えないと、なかなか会が成り立っていないという状況です。次回例会の時に会費値上げについて皆さんのご意見を賜り、そこで決したいと考えてます。それまでに幹事の方から詳細をご案内いたしますので、ぜひ会に参加してご意見を頂きたいと思えます。

今日も一日よろしくお祈りします。

■幹事報告

皆さんおはようございます。今年度の役員の任期もあと一ヶ月となりました。会費の値上げに関して、来週臨時総会を開催予定です。本日午前中に資料をメールにて各委員長に送りますので、午後一番にチェック頂き、各委員の方に声かけをして頂けると幸いです。ご意見等ありましたら、5月31日までにメー

ル(文書)で寄せて下さい。全てを踏まえた上で、6月2日(火)臨時総会に付託します。本日午前8:45分より、第11回理事会を3Fメイフェアにて開催しますので、出席義務者は参加をお願いします。

■委員会報告: プログラム委員会(木村満義委員長)

先週実施のアンケート用紙をレターケースに入れておきました。まだ回答を頂いていない方は、本日中に、私まで直接か、受付の所に封筒がありますので、そちらに入れていただける様、お願いします。

■スマイル

小林昭次・末広さくら:

浜名湖RCの佐原前会長、森様、内山様、本日は早朝よりお越しいただき、又卓話を頂戴でき、ありがとうございます。素晴らしい活動を続けておられる事に敬服しております。今後共ご指導の程よろしくお祈り致します。

職業奉仕委員会:

森さん、佐原さん、内山さん、本日は朝早くから当クラブで卓話をさせていただきありがとうございました。ミンマーへの校舎を寄贈するという大事業の実績はとてもよい参考になりました。また機会があれば続きをお聞かせ頂ければありがたいです。

佐原功一郎、森俊幸、内山悦二:

一昨日の浜名湖RC創立30周年記念式典ならびに記念事業には多大なご支援ご協力を頂き誠にありがとうございます。今後ともよろしくお祈り致します。

西尾文克：

先日5月16・17日の土日、静岡にて第20回国際ロータリー日本青少年交換研究会「富士の国会議」が行われました。ロータリアンは北海道から九州まで、海外からはアメリカ、台湾から参加されました。また、青少年交換学生につきましては、ドイツ、アメリカ、フランスなど、世界13ヶ国の交換学生の交流の中で、これからの新たな取り組みについて話し合いがもたれました。当クラブからはジョーさんと私の地区の国際奉仕委員が参加致しました。次年度の国際奉仕活動に努めたいと思います。

議事： (職業奉仕委員長 武田信秀)

「浜名湖RC ミャンマー学校支援建設事業について」

本日は、ミャンマーに小学校校舎を寄贈するという壮大な計画を、実行に移した浜名湖RCから3人のメンバーにおいて頂き、後ほど卓話をして頂きます。当パワー浜松RCの中野(旧姓伊藤)麻衣さんを中心とするメンバーが、ミャンマーの子供達に文房具等を寄贈した事、中野さんが浜名湖RCで卓話をした等がキッカケで、本日の運びになりました。まづ、今回のミャンマーの仕掛け人とも言える直前会長の、佐原功一郎さんからお願い致します。

佐原功一郎(直前会長、ミャンマー推進役)



2月18日～ 総勢20名で寄贈小学校校舎落成式に出席してきました。(アドバイスに沿い、サッカーボール、ノート・鉛筆・楽器等をハンドキャリーで持参しました。) 場所は、首都ヤンゴン近在のチャイタレー村にあり、(校舎): 18m×9m、162㎡、約50坪の建坪、坪当たり単価は 50,000円(日本円換算)、現地では相当立派な建物です。当初の総予算は、20,000米ドル、為替の差額の遣り繰りに苦労しました。当RC創立10周年記念の際、ペルーに小学校寄贈の経緯あり、私が今回の30周年にミャンマーの件を上程すると、様々な逆風を受けましたが、①丁寧にやる ②情報をメンバーに共有する・・・を条件に何とか承認を取り付ける事が出来ました。当初、現地に何をどういう形で渡すのが良いかの議論及び現地調査の際は、ミャンマーの厚生省

元役人、日本から現地に行っているボランティアの方達、JETORO、女性医師 etc. など様々な方々から一蚊帳・コンドーム・救急車兼移動診療所など様々な意見がでましたが、費用があまりかからず、効率的で、しかも現地の人に喜ばれるという観点から公立の小学校校舎の寄贈に決定したのでした。詳細に関しては、後ほどDVDをご視聴してください。

内山悦二(ビデオ記録班)

ミャンマー事業に際して、佐原さんと当初から行動を共にすると共に、ビデオ録画・編集まで担当させて頂きました。

森俊幸(国際奉仕委員長)

今回のビデオ編集に関り、おもにパワーポイントを駆使し、レベルの高い画像作りに貢献出来たと思っています。



■ハッピーバースデー

親睦委員会： (小田木基行委員長)

中野麻衣さん：2月22日生まれですが、出産準備の為大事を取り、例会を休んでおられましたので、本日出席の機会をとらえ、お祝いをしたいと思います。「8月2日出産予定日で、3月切迫早産の危機もありましたが、母子ともに順調です。女の子の予定ですが、現在は旺盛な食欲があり、あと2カ月体調に気をつけて元気な赤ちゃんを産みます！」

